



気づいたら手にとってしまおう 自分だけの世界



おいかわ **及川** かずよし **和善**さん (46歳)

奥州市在住金ケ崎町勤務

日本折紙協会認定講師。2020年に講師資格を取得し折り紙活動を普及。金ケ崎町芸術高等学校では75cmの折り紙を使用した作品を出品。令和7年4月からは明光義塾金ケ崎教室で折紙教室を開催している。今後は依頼に応じて随時開催も可能。

「失敗しても紙一枚だけ。誰にも迷惑をかけずに楽しい時間を過ごせることが魅力」と話す和善さん。塾の教室長を務めており、数年前の学習会の空き時間で子どもたちに折紙を披露すると大好評。その様子を見ていた他の先生から日本折紙協会認定講師資格について紹介され、令和2年に認定講師資格を取得した。

依頼を受け一関市の猿沢市民センターで折り紙教室を開催し、くす玉や大きな蛇などを作成。参加者からは、「集中したので疲れたけど、作品ができたのは嬉しい」と笑顔で感想を伝えられた。

「折紙は誰しもが小さな頃から親しんで、世代を越えて楽しめる。難易度も様々で、突き詰めると大人もはまりますね」と自身の作品を手に取りながら語ってくれた和善さん。今後は企業のイベントや地域の行事などにも参加し、折紙の魅力を伝えたいという。

得意な作品は鶴とドラゴン。長年制作してきた鶴は、今では目隠ししても、手を後ろにしても折ることができる。愛読書の「本格折り紙」(©前川淳)から学んだドラゴンは64手もかかる大作だが、子どもたちに人気があり、教室を開くと必ず制作している。令和7年の金ケ崎町芸術高等学校で大きな紙を使ったドラゴンを披露し、来場者を楽しませた。

今や世界的に普及し、毎月のように外国人が認定講師の資格を取得している折紙。手に収まる美しい芸術作品制作を皆様も始めてみてはいかがだろうか。

広報日記



新年最初の広報を発行することができほっと一息。本年もよろしくお願ひします。1月はイベントも多く、皆様の活躍を取材。寒い中、各地で熱い思いが溢れていると感じる。

今年は早めの真冬の到達と局地的な大雪が予想されている。「雪は天からの手紙である」は世界で初めて人工の雪の結晶を作った中谷宇吉郎先生の名言。地上で雪の結晶を見ると、どのような環境条件で雪ができたかがわかるとのこと。今回はどんな贈り物が届くだろうか。(千葉)

人口と世帯		12月31日現在	
※()内は前月比			
人口	15,071人	(△16)	
男	7,788人	(△1)	
女	7,283人	(△15)	
世帯数	6,658世帯	(△9)	